

ASOLETTER

あそれたー vol.02



- 新入職員紹介!
岡本翔吾さん・辻井綾乃さん
- イベント報告
研修・イベント・取り組み
- 特集
あそか訪問介護ヘルパー研修
- 採用コラム
みなさんがPR大使です!
- コノコダレヤロ

鮭に昆布に梅干にツナやたまご・・・自分で握ったおにぎりを持って昆陽池公園へピクニックに。太陽と緑の下で体も心も元気いっぱい!! 【菩提樹2019.10月】

研修



苑内で、全体研修のほかにもエンゼルケア研修や KYT（危険予知訓練）勉強会、フィードバック研修、今回特集で取り上げたヘルパー研修などさまざまな研修が実施されました。スキルももちろんですが、こういった「あそか苑の介護士さん、看護師さんのケアは素晴らしいと言っていたけるように一緒に学んでいきましょう！」の姿勢がご利用者やご家族に伝わっていくものなんだと思いました。

イベント

豆まきでは本気の全力で新聞紙豆を鬼に投げつけたり、餅つき大会では小ぶりとはいえ重い杵を片手で持ち上げられる方や、車いすから立ち上がって上着を脱ぎすて餅つきに参加してくださる方もいらっしゃるりと、利用者さまの普段の様子からは考えられないようなパワーを引き出す場面に、季節イベントの底力を感じました。みなさんに楽しんでいただきたい、と準備したことが報われる一瞬です！



取り組み



2018年9月に取り組みが始まってから早くも1年半になるあそか苑周辺の地域清掃。昆陽池周辺やサンシティホールのあたりまで行くこともありますが、地域の方から「ご苦労さまです」「ありがとうね」と足を止めて声をかけていただいたりすると、ほんとうに温かい気持ちになります。お買い物バスツアーが始まったのは少し後の2018年12月。どちらもこれから長く続けていくことに意義がある取り組みです。

親 和 会 旅 行

2020.02.06・15・20



淡路島縦断！ 鳴門渦潮クルーズツアー

おなじみのドリーム観光さん以外からもツアー案を出してもらった中で食事と温泉でゆったりして帰ってくるだけではなく、体験イベントを盛り込んで記憶に残る旅にしたい！お土産を買える場所も二か所に・・・など親和会ならではのさまざまな配慮がちりばめられた企画をしていただき楽しい旅となりました。3日間で、合計99人が参加されました！

4月からの 新しい仲間

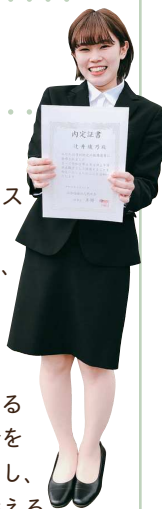
カピラ特養 岡本翔吾さん

春からお世話になる岡本です。
私は小学校の頃に始めた野球を現在も続けています。はじめたころは決して上手くはなく、劣等感を持っていましたが、努力を続けたことでコーチやチームメイトから認めてもらうことができました。また、専門学校時代に参加した数多くのボランティアでは一つひとつの施設でどのような方がいてどのように接していったらいいかを考えた結果、人見知りだった自分が利用者さまとのコミュニケーションに自信を持つようになりました。
長所は責任感が強く物事を中途半端に投げ出さないことです。専門学校のクラス委員長を務めた際には、投げだしそうになったことも仲間と協力して最後までやり切ることが出来ました。
今後あそか苑では、利用者さまが施設の時間に合わせるのではなく、利用者さま一人一人の時間に合わせた支援をしていきたいです。



ウバラ特養 辻井綾乃さん

春からお世話になります。
学生時代、オープンキャンパスのスタッフや体育祭のクラスリーダーをつとめた経験から、人との関わりやつながりの大切さ、みんなで挑戦することの大切さを学びました。
人を笑顔にすること、笑わせることが得意なので、その長所を活かして利用者さまを笑顔にし、利用者さまの気持ちに寄り添える職員になれるように頑張りたいと思います。
あそか苑ではいろいろなことに挑戦していきたいです。実現することは難しいかもしれませんが、利用者さまが入りたい時間にお風呂に入れるような施設を作っていきたいなと考えています。



これから一緒に
盛り上げて
いきましょう！



あそか訪問介護のヘルパー研修

あそか苑訪問介護では月に一度、職員が順番に講師を務めてヘルパーのスキル向上を図る研修が行われています。4月より事業管理者となる平山さんに話をお聞きしました！

— 2020.3月現在で職員3名、フルタイムパートさん2名、登録さん15名の総勢20名ということですが、ヘルパー研修は毎月やってらっしゃるんですね？
はい。時々変更することもあります。毎月第3土曜日にやっています。

— いつごろどんなきっかけで始められたんですか？
いつぐらいかな…もう何年も…たぶん10年以上になると思います。今の、講師を交代制でやるスタイルになったのは3年ぐらい前からですね。研修は事業所加算をとりはじめる前からやっているので、純粋にヘルパーさんのスキル向上のためにというのがきっかけだと思います。



— 10年以上ですか！定期的な研修を10年も続けてるって、すごいですね。研修の内容はどう決めているのですか？
事業所加算に必要な研修とあわせて、ヘルパーさんからアンケートで聞き取った「やりたい研修」を反映して年間計画を立てています。

— 年間計画なんですね。とくに手応えの良いと思う研修などありますか？
手ごたえが良いものって言うと、排泄介助

などの実技系や、調理実習なんかはワイワイ楽しいかんじでできて、座学やグループワークでの発言が少し苦手な方でも気負わず参加できるし、みんなやってよかったな～というかんじになりますね。



— 実用的なものっていいですね。実際に訪問で作ってみたという声もあつたりしますか？
あります。実習でのレシピは訪問介護で持つファイルにはさんでいるので、それを見てやってみたよ！とか。

— 使ってもらえると嬉しいですね。ご自身で、研修の講師をやったことがなかった頃の自分と今の自分で変わったなというところがありますか？
毎回緊張はしますが、段取りの部分では慣れました。座学ばかりじゃなくてグループワークとか一緒に進めていくものや演習を多くしたほうがしっかり聞いてもらえるっていうのがちょっと分かるようになって、今は興味を持ってもらえる方法をその都度探しながらやるようになっています。

— 工夫の積み重ねですね！ほかにも工夫されていることはありますか？



講義の最後に確認のためのクイズをやったりします。たとえば熱中症になったときに摂らなかん飲み物は～とか3択から選んだりして。意外と答えられないこともあるんですけど、かえってそれで覚えられるかなと。あと、Youtubeで良い動画があれば、それを見てもらったりもしています。

— そういう工夫を凝らしながら研修をやっていく中で、これは失敗したなということがありますか？

毎回、ああ…まだまだやな、って思うかんじです。ほんとにいつもなんですけど、思った通りにはいなくて。たとえば実習でこれまでに教えてもらっていて、自分でも得意なほうだし私はもう教えられる！と思っている身体介護でも、いざ教える側にまわると焦るんですね。じつと注目される中で動いたり、想定してなかった質問にパツと答えられなかったり。あとは参加者の反応があんまりよくなかったときは、この進め方は違うかったな、とか。

— いい研修にしたいからこそ！というかんじですね。参加してくれたヘルパーさんが研修をとおして変わった、みたいなことってありますか？
認知症についての回のとき、講義をきいたうえで何かできることがあるか？っていう問いかけに対して、普段あまり自分の意見を表に出さないヘルパーさんが「訪問したときにこんなことをやろうかなと思います」って言ったことにすごい感動したんですよ。いいやん！それいい！私はそんな発想なかった！みたいな。研修で学んだことから発想して提案してくれたのかなと。

— それは嬉しいですね！…逆に困

っていることとかありますか？

困ってることはしょっちゅう講師役が回ってくることで笑

— 笑

でもやっぱり、とくに必須の研修は毎年同じテーマだからといって毎回同じ内容にしてしまうと、それ去年も聞いたし…ってなってしまって、始まる前からがっかりされちゃう。じゃあどうやって去年よりも面白くしようか、どうやったら楽しい研修になるのかっていうところの資料集め、材料集めですね。たとえやるのが同じでも、もうひとつくわえ、みたいな…どうやったら毎回おもしろく聞いてもらえるのかが悩みどころです。ただ4月からは阿部さんが新しく訪問介護に来られて、初めての目線で訪問も研修もやっていくことになるので今年とは全然違うと思うので、ヘルパーさんにも違った雰囲気に参加してもらえるかなと思っています。



— 講師が変わると新鮮で楽しみです！…阿部さんのデビュー研修、取材に行こうかしら？

それは3ヵ月ぐらい先になるかな笑

— そうですか笑。そういえば、見学や、別部署の方がヘルパー研修に参加することはできるんですか？

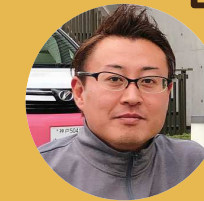
もちろん来ていただいていいですよ！参加ってなると資料などの準備や人数のこともあるので、事前に連絡をいただいたほうが確実ですが、見学は当日寄っていただいても見ていただけたらと思います。

これから僕もバトンを受け取ってつないでいきます！

阿部さん



2013.4月から7年間
事業管理者を勤められた
吉元さんにも話をお聞きしました！



グループワークなどを積極的に取り入れる形式になって、みんなの意見も直に聞けるようになってからはちょっと掘んだかんじで、ここ2年ぐらいで積極的に参加してもらえてるかなと思います。もっと気軽に話してもらえる環境づくりや、長年いる人に興味をもって参加してもらえるように、次のもうひとつ工夫が必要になってくるかと思いますが、講師の側もレベルが上がっていると思います。成長って自分たちの関わるケースが増えてきたときに実感できるかなと思うんですが、そこをどう実感してもらえるような研修にしていくかも考えどころやと思います。阿部さんが新しく入ることで原点を思い返してもらって…そういえば自分も最初はこんなかんじだったなあ、とか。そういう振り返りから、これからやるべきことを考えてもらうのもいいんじゃないかなと思います。

✉ 平山さん

どんなに準備期間が短くてもムラなく伝えたい内容をヘルパーさんに伝えているところは毎回スゴイと感じます。これから事業管理者としていろんなことをやらないといけない立ち位置になるので悩んだりもするでしょうけど、やっているうちに、ぐんぐんチカラがついていくんじゃないかなと思います。頑張ってください！

✉ 仁川さん

サービス提供責任者じゃないときから講師を引き受けてくれていて、ありがたかったです。研修では、しっかり要点を押さえた資料を作ってきてくれていて、これからまとめるチカラなんかもっと上がっていくのを楽しみにしていたところでしたが、ヘルパーの経験を活かしてこれから菩提樹で頑張ってもらいたいと思います！

第01回

事例検討会

ヘルパーが物を盗ったと利用者から疑われてしまった。事前に防ぐためにはどうすればよかったのか？

第02回

調理実習

時短レシピ6品、3グループに分かれ2品ずつ調理しました。

第03回

排泄介助

オムツの当て方次第で利用者様の心地よさが変わること学べました。

第04回

熱中症について

熱中症対策をして暑い時期を乗り切る！

第05回

認知症について

認知症の方へのコミュニケーションについてしっかり学びました

第06回

法令順守

ヘルパーでできること、できないこと。テストをしてみると意外と難しい！

第07回

プライバシーについて

プライバシーとはなんだろう？

第08回

危険予知トレーニング

訪問先で、こんなに危険が潜んでいるということに気づかされました。

第09回

緊急時の対応

訪問中にいつ起きてもおかしくないような事態。ヘルパーはその時どうするのか？

第10回

嘔吐物の処理方法

ヘルパー及び利用者の感染を防ぐための方法を学びました。

第11回

認知症について

三好春樹氏の研修に参加した内容をフィードバック。

第12回

接遇・マナー

接遇ってなんだっけ？動画での振り返りと、ワークを通してお互いに与える印象を確認。

あそぶろぐ



あそか苑訪問介護

ココダレヤロ

Who is this child ?

エピソード

- 成育歴・職歴
 - ・昭和39年2月、豊中市生まれ。
 - ・地元の幼稚園～中学校をほぼほどに卒業
 - ・府立高校から某私立大学に滑り込み、そこそこの生活を送る。大学では麻雀と喫茶店巡りだけ履修。
 - ・大学卒業後は某企業に就職。ろくな事してないにも関わらず、御慈悲で働かせていただく。
 - ・御慈悲で勤めさせていただいた恩も忘れて、6年9ヶ月で退職。次に就職した会社がマルチまがい商法で摘発されるなど、以後職を転々とする流浪の人生となり、現在に至る。
- 趣味・嗜好
 - ・人には言えないような恥ずかしいことばかり…
- ADL
 - ・移動：勝手すぎて団体行動が苦手。
 - ・整容：整える部分が無い。
 - ・食事：おいしい酒が欲しい。
 - ・入浴：唯一好きなお風呂が「砂蒸し温泉」。
- 既往歴
 - ・頭痛 腰痛 眩暈 高血圧 頻尿 糖尿病予備軍 近視 遠視 乱視 虚弱体質 天邪鬼



♡ ヒント

暖かくなるとはまる仕事

- ・中庭の草刈り
- ・外壁洗浄

最近ハマっている仕事

- ・紙芝居
- ・シャボン玉

苦手な仕事

- ・アセスメント
- ・モニタリング

※ 答えは見開きページの右下



採用コラム みなさんがPR大使です！

4月から新卒で2名の方に入職して頂きました。2人とも「あそか苑」を見て頂き「ここで働きたい」と思ってくれました。職員のみなさんが見学の時に廊下ですれ違ったときに学生に明るく挨拶してくれたり施設の説明をしてあげることがすごく嬉しいです！来年度も学生と見学に回りたいと思っています。僕と一緒にいる見学の方に色々あそか苑の良さを伝えてくれたらとても嬉しいです！これからもよろしくお願ひします！



サービス付き高齢者向け住宅
彩那グランデ荒牧、入居者募集中!!

ご入居相談(直通) **080-7631-9950**

